

【2年 性教育講演】

10月17日（木）5・6限に立命館大学産業社会学部 斎藤真緒 教授とゼミ生 16 名による性教育講演をしていただきました。

講演では、楽しい恋愛や人間関係、デートDV などについて大変わかりやすく教えていただき、生徒は今後について考える良い機会になりました。また、大学生とグループワークを通して、リアルな恋愛事情や体験談もふまえて交流しました。

○生徒の感想

- デートDVは女性・男性などは関係なく、どちらでも加害者・被害者になることがあるということが分かった。
- デートDVについて理解した。講演前の印象は、ただデートでDVする感じなのかなと思ったが、講演を聞き理解出来た。例えば、相手に支配されて嫌ならば、自分の心の中で、思っていることを直接伝えることが大事だと感じた。もし、仮に困った場合、大人に助けを求めるという意識は大事だと感じた。自分も恋人が見つかった時は、今日、学んだデートDVの意味と、困った時は、大人に助けるという意識を持ってこれからの人生に繋いで行きたいと思った。
- 僕はこの講演で知らなかったことをたくさん知ることができた。恋愛をするのだって、しなやかにしなやかに焦る必要はなく、マイペースでしていけば良いと分かった。恋愛をするということは必ず相手がいて自分だけの考えで行動せず、相手のことも考えて行動していかなければいけないと知ることができた。
- 大学生の友人の話を聞かせていただいた上で、私も友人の立場やったら、彼には「キツく言えないな～」と思った。けど、それが恋人じゃなくて、友だちだったらと考えたときに、「それは言うわ!」と思ったので、親しいほど言いにくいこともあるんだなと思った。今日の講演をふまえて、家族・恋人・友人との関わり方に気をつけようと思った。NOが言える関係を気付いて行きたい。
- デートDVは、誰にでも起こりうることなので、気をつけなければいけないなと思った。グループワークでは、良いか悪いかだったけど、やっぱりみんな意見が違っていいなと思った。学んだことは、許容範囲は人によって違うから、気をつけなさいといけなことだと思った。今日は、講演をしていただきありがとうございました。

